

院長にインタビュー

院長

ほん べ ゆう いち ろう
本部 悠一郎 先生

「全ての患者様に笑顔でお帰り
いただくことが当院のモットー。」

「医療法人社団誠悠会 東葉デンタルオフィス 船橋こどもおとな矯正歯科・訪問歯科」は、本部悠一郎先生が2012年に千葉県船橋市に開院された歯科クリニック。院長の本部先生は、より最適な診断と治療を患者様に提供するため、常に最新の情報をアップデートされております。今回はそんな本部先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについて伺いました。

インプラントはオペの翌日から 普段と変わらない日常を送ることが

—— まずは初めの質問です。本部先生が考える
インプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

歯を1本失うと、ブリッジ、入れ歯、インプラントの治療法から選択するのが一般的です。ブリッジはメリットとして保険適用による費用が安い反面、健康な歯を大きく削り、ケアが難しい。入れ歯は手術が不要でお手入れがしやすいものの、歯を削り、バネで見た目が悪く、残存歯への負担や虫歯リスクがあ



ります。

インプラントの最大のメリットはこれらのデメリットがほぼないということです。費用は他よりいくらかかさむものの生存率も高く、咀嚼能率においては他の治療法より圧倒的に高いことも魅力です。

—— インプラントはしっかり噛めるようになる
ということですね。それでは実際にインプラントにされ
た方のお声はいかがでしょうか？

施術をしたほぼすべての方が「**食事を美味しく食
べられ、インプラントにして良かった**」と仰ってくだ
さいます。

私自身もインプラントを入れています、自分の歯
とほぼ遜色なく噛むことができ、大変満足していま
す。そのためか、一度インプラント治療を選択され
た方はほとんどその次の治療もインプラント治療
を選択される傾向があるように感じます。

—— メリットが多いインプラント治療ですが、中には
インプラントは「何となく怖い」というイメージを持
つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょう



怖いと思うのは当然のことと思います。私自身、イ
ンプラント治療を体験するまで患者様のお気持ちが
どのようなものか、歯科医師の目線でしか理解してい
なかったと反省しています。

実際に治療を体験した現在、皆様に胸を張って「安
心してインプラント治療は受けていただけます」と申
し上げることができます。

**術後の痛みや腫れも薬でコントロールができ、オ
ペの翌日から普段と変わらない日常を送ることがで
きるのも、インプラント治療の特徴です。**

ライフステージに合わせた 適切な治療法をご提案

—— 実際にインプラント治療を受けた先生のお話
は説得力がありますね。ところで本部先生は、常に進
化するインプラントの技術、知識をどのように習得さ
れておられますか？

医療技術は日進月歩ですので、常に最新情報に触
れることが何より重要です。

私は国際口腔インプラント学会と日本歯科先端技
術研究所、日本口腔インプラント学会に所属しており
、定期的に学会や関連講習会で最新の知識を学ん
でいます。

さらに、名高いインプラントドクターの個別セミ
ナーに参加し、様々な臨床的術式を習得しています。
患者様に安全で質の高いインプラント治療を提供す
るための基盤となっています。

—— 日々の治療だけではなく、常に知識・技術向
上にと研鑽されているんですね。
それでは治療をされる上で、患者様とコミュニケー
ションをどのように取っていらっしゃいますか？

やはり最初は皆さん緊張されているので、**努めて
明るくお話をしよう心掛けて**います。初めにオペ
の概要をご説明し、所要時間など含めて今日はど
んな感じになるのかをイメージしていただくように
しています。

**オペ中にも、麻酔をした後の状況など、合間に治
療の進捗をお伝えし、後どれくらいで終わるのかを
知っていただき進めていきます。**

—— **それだけ寄り添っていただけると患者様も
安心ですね。それでは本部先生、ずばり！クリニック
の強みはどこでしょうか？**

**当院の強みは、その方のライフステージに合わせ
た適切な治療法のご提案と、その後のアフターフォ
ローができる点**です。これは当院が医院名の通り、
こどもから高齢者まで全人的な治療を提供してい
る医院であることが大きいです。

また当院ではデジタル機器の導入を積極的に
行っており、極めて安全・短時間・低侵襲にインプラ
ント治療を行っております。

そして麻酔も、3段階式局所麻酔法によりほとん
ど痛みなく治療を受けることが可能です。

—— **治療に学会、研究会にとご多忙だと思いま
すが、休日はどのように過ごされていますか？**

最近の休日は仕事をしている事が多いですね。学
会やセミナーに参加し、知識の習得に努めていま
す。

また、オペも仕事も体力が大事なので、合間の時
間でジムに行って体を動かすようにしています。休日
は家族と一緒に過ごすことを心掛けていますね。

—— **それでは最後の質問です。本部先生にとって
この仕事の喜びとは何でしょうか？**

どの仕事においても、自分が行ったことが相手の
方に喜びを与え、良い影響を与えることが何にも代
え難い大きな喜びであると感じています。

とくに私たちの仕事は患者様から感謝の言葉をいた
だくこともあり、それが仕事のやりがいに繋がります。

**全ての患者様に笑顔でお帰りいただくことを当
院のモットー**としております。